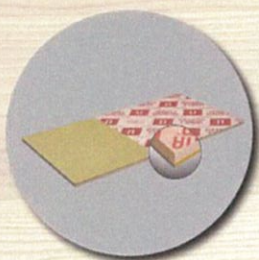
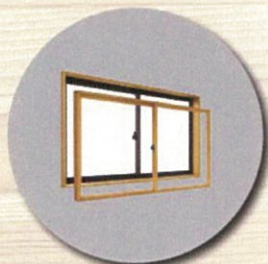


# H31年度 次世代省エネ建材支援事業について



**AsahiKASEI**  
旭化成建材



**YKK  
ap**



**DAIKEN**

## 断熱はお得がいっぱい

ZEH+R  
125万

*国土強じん化  
(受審時1ヶ月以内(2)  
生活のため)*

ZEH+  
115万

*(主に寒冷地が対象)*

次世代省エネ  
建材補助  
200万

\* 集合住宅は125万

ZEH  
70万

地方  
自治体  
補助金

断熱リノベ  
120万

\* 集合住宅は15万  
\* 窓のみは40万

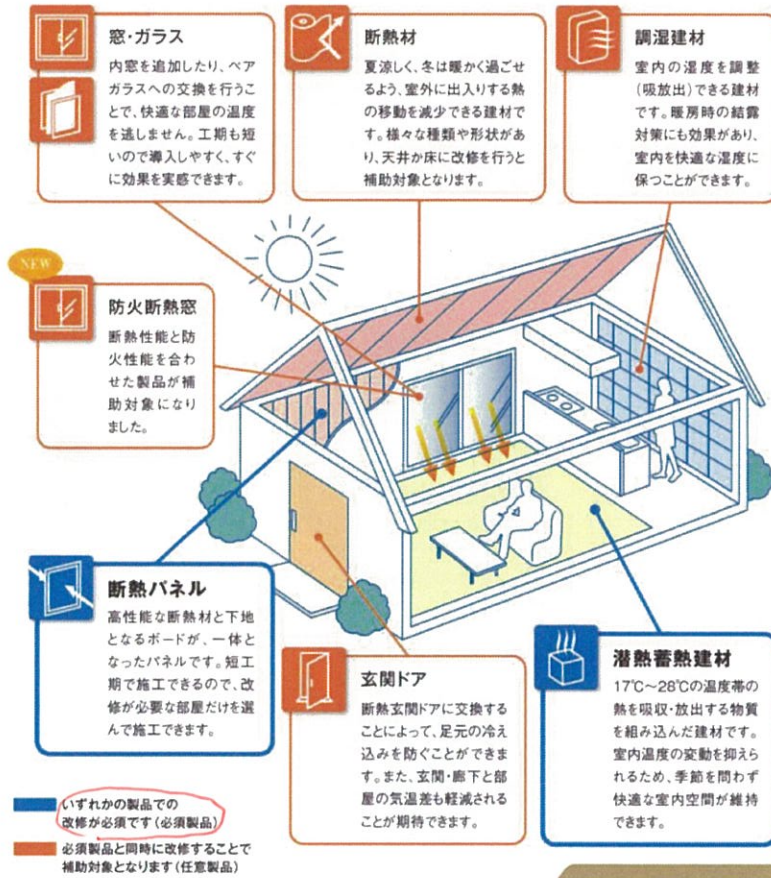
次世代住宅  
ポイント  
40万P

\* リフォームは35万

\* 新規取り組みZEHビルダー制度  
公募予約枠制=契約してい  
なくても枠を1棟確保できる!  
約1000棟想定



省エネルギーフォームをすると光熱費が安くなるだけでなく、快適に過ごせるようになります。  
1部屋だけをリフォームする場合でも補助事業の対象です!



SIIパンフレットより

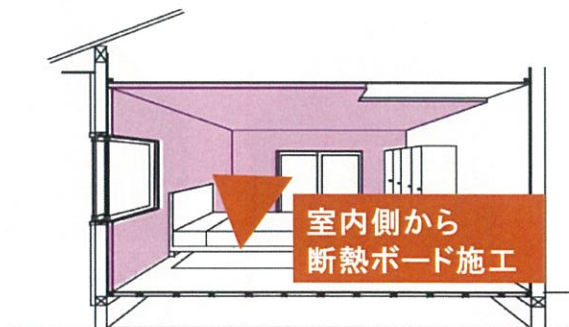
# 必須製品

### 必須製品：断熱パネル又は潜熱蓄熱建材

※ 一社)環境共創イニシアチブ(SII)登録製品となります。ネオマ断熱ボードは登録済みです。  
※ 潜熱蓄熱建材を設置する方法等もあります。詳細は概要および公募要領にてご確認下さい

### 要件

- 室内側から施工 床下、壁の外側、天井裏からは対象外
- 施工範囲に居室又は玄関、トイレ、浴室、洗面脱衣所のいずれか1室を含む。また、その部屋の外気に接する床・壁・天井の少なくとも1部位1面に施工すること
- ※ 上記を満たす限りは間仕切壁、階間部天井への断熱ボードでの改修も対象になる



Point

必須・任意製品に分かれる  
任意製品は必須製品設置が前提

## 断熱材

平成31年度 高性能建材による住宅の断熱リフォーム支援事業に登録された断熱材で、グレードがD1の製品(ゼウス・ネオマ・ジュピーは登録済み)

施工部位は床・天井のみとし、壁面は対象外

## 窓

以下から選択(SII登録品)

カバー工法(既存窓枠を取り外さず、その枠の上に新しい窓を取り付ける)(SII登録済み)

外窓交換(防火仕様に限る) *防火地域*

内窓取付(プラマードU)(SII登録済み)

玄関  
ドア

玄関ドアの設置(SII登録品)

Point

必須製品の導入が条件

SIIに登録されていることが条件

## ガラス

ガラスのみの交換

既存の窓・ドアのフレームは、木製もしくは樹脂製、又は木と金属の複合材料が条件

既存の窓・ドアフレームの材質により導入できるガラスが異なります。SIIホームページで確認必要。

調湿  
建材

室内側から施工

吸放湿を妨げない内装仕上げ(吸放湿を妨げる塗装や透湿しないシート等を上張りしない)

さらりあーと(SII登録予定)

Point

SIIに登録されていることが条件



**補助率**  補助対象経費の1/2以内

## 補助金額

戸建住宅 上限: 1住戸当たり200万円  
下限: 1住戸当たり20万円※下限を下回ると対象外

集合住宅 上限: 1住戸当たり125万円  
下限: 1住戸当たり20万円※下限を下回ると対象外

※補助対象経費の合計は1住戸当たり40万円以上が条件

※一次公募の予算規模約2億円

Point

補助対象経費は40万円以上

# 補助対象となる申請者等

## 2019年度

## 戸建住宅補又は集合住宅の居住者

申請者が常時居住する住宅(住民票に示す人物と同一)

申請者が所有(所有予定含む)

専用住宅であること

※店舗等と居住部分が同一住宅の場合、エネルギー(電気・ガス等)を分けて管理できていること。及び断熱工事においても区分されている

## 賃貸住宅の所有者(個人・法人どちらでも可)

申請者が当該建物を1棟全部所有

※集合住宅の場合、改修は1戸からでも可



経費区分	項目
補助対象経費 材料費	<SIIに登録された補助対象製品の購入費> 断熱パネル、潜熱蓄熱建材、 断熱材、窓、玄関ドア、ガラス、調湿建材
補助対象経費 工事費	<上記製品の取付費及び、その取付に必要な部材と取付費> ・断熱パネル・潜熱蓄熱建材・断熱材・窓・玄関ドア・ガラス・調湿建材の取付 ・内窓取付に必要な額縁、ふかし枠等 ・補助対象製品の取付・敷設に必要な下地材等 ・補助対象製品の取付・敷設に伴う解体撤去費(場内集積まで) ・養生費 ・清掃費 ・美装費 ・搬入費 ・仮設足場費 ・補助対象経費を算出するための実測費 等
補助対象外 経費	・給排水、電気等の設備工事費及び設備機器等の購入費用 ・クロス、外壁サイディング、フローリング等の仕上げ材、網戸・雨戸等の窓付属部材 ・諸経費、設計費、書類等の補助対象製品以外の送料、交通費、廃材処分費、管理費、調査費、消費税及び地方消費税、法定外福利費 ・金融機関に対する振込手数料 等

- (注1) 交付申請書に添付された見積書に値引きを計上している場合は、見積費用全体に係るものとみなし、補助対象費用にも按分にて値引きされているものとして取り扱う。
- (注2) 補助対象経費は、材料費・工事費共に市場流通価格等を基に適切に算定すること。
- (注3) 申請者又は申請者と利害を一にする者が、補助対象製品の調達及び工事等に係る場合は、該当する者の利益相当分を排除した額を補助対象経費とすること。
- (注4) 見積上の一項目に、補助対象と補助対象外の両方が含まれる場合(搬入費等)、補助対象外を控除した経費を補助対象経費とすること。ただし、補助対象外の控除分を合理的な方法で算出したい場合は、費用按分も可とする。

# スケジュール

### 公募期間

一次公募: 2019年5月13日(月)～2019年6月28日(金) 17:00必着

①工費用に到達次第終了!

二次公募: 2019年8月上旬～2019年9月中旬(予定)

SII・HPに追加掲載が示される。

### 交付決定

随時 申請書の到着日から1か月を目途に交付決定

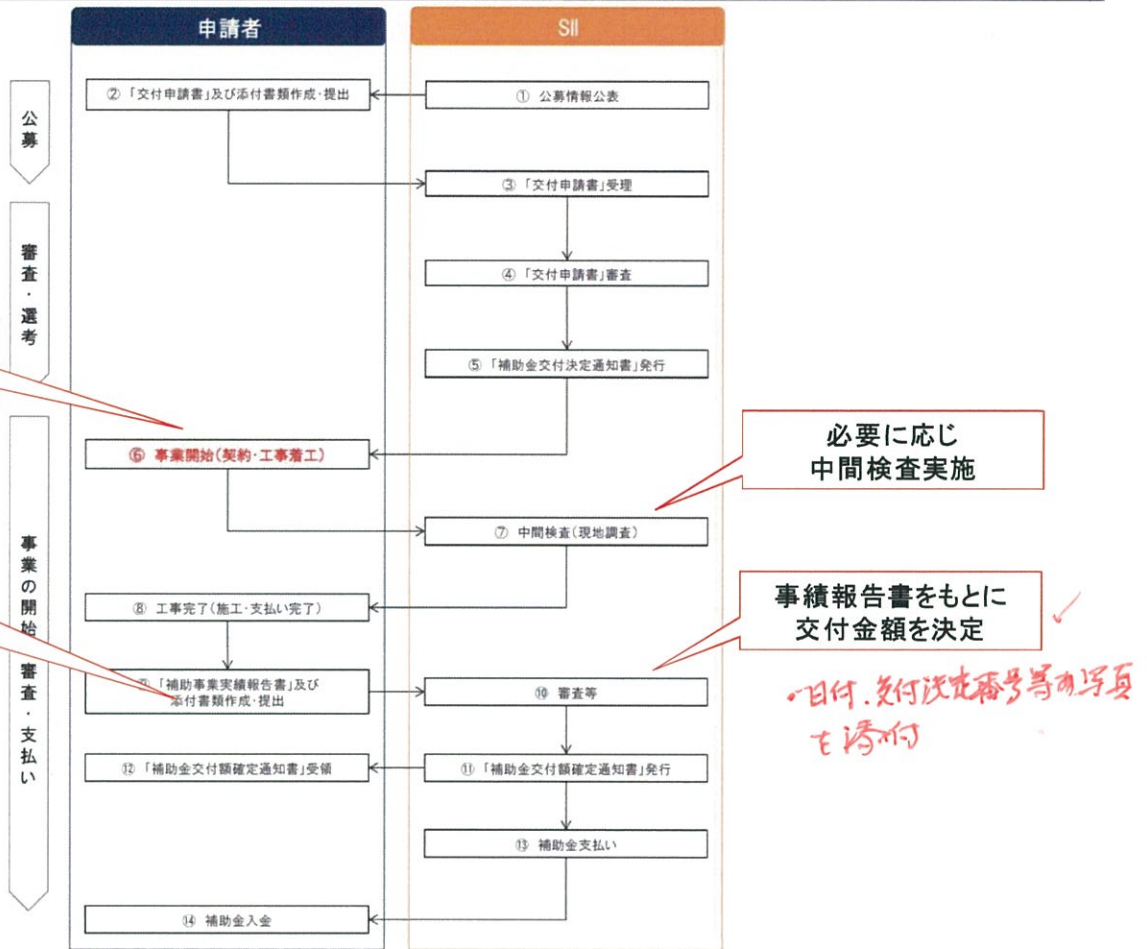
最終交付決定日 一次公募: 2019年8月中旬 二次公募: 2019年10月下旬

### 実績報告書の提出期限

今次完了日から起算して14日又は以下のいずれか早い日の17時必着

一次公募: 2019年12月13日(金)

二次公募: 2010年 1月17日(金)



# 必要提出書類 総括表

【戸建】定型様式2  
次世代 太陽電池

### 総括表

— 自動計算(リンク含む)
 — 申請者入力欄
 — 明細書が複数ページに渡る場合は、自動計算不可(リンク含む)

※「明細書」を先に記入すること

- 見積書及び明細書を基に、導入製品ごとの補助対象経費の会計を下表に記入すること。
- 補助対象経費の会計は、必ず[税抜]で記入すること。
- 明細書及び別添の見積書の金額と整合性が取れていること。

明細書より自動で転記されます。ただし、明細書が複数枚に渡る場合、各導入製品ごとの合計金額を記入してください。

明細表から自動計算

導入製品	補助対象経費の会計 [税抜]										
必須製品											
断熱パネル	計	922,500 円									
溶熱蓄熱建材	計	323,000 円									
導入必須製品の補助対象経費合計(A)	計	1,245,500 円									
任意の製品											
断熱材	計	93,150 円									
窓(カーテン・外窓交換(防火仕組)・内窓取付)	計	520,000 円									
玄関ドア	計	330,000 円									
ガラス(ガラス交換)	計	円									
調湿建材	計	284,800 円									
任意の製品の補助対象経費合計(B)	計	1,227,950 円									
<補助金交付申請予定額の算出> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>見積書の補助対象経費(C) [(A)+(B)]</td> <td>計</td> <td>2,473,450 円</td> </tr> <tr> <td>補助率の計算(D) [(C)/2]</td> <td>計</td> <td>1,236,725 円</td> </tr> <tr> <td>補助金交付申請予定額(E)</td> <td></td> <td>1,236,725 円</td> </tr> </table> ※(D)又は200万円のみいずれか低い金額			見積書の補助対象経費(C) [(A)+(B)]	計	2,473,450 円	補助率の計算(D) [(C)/2]	計	1,236,725 円	補助金交付申請予定額(E)		1,236,725 円
見積書の補助対象経費(C) [(A)+(B)]	計	2,473,450 円									
補助率の計算(D) [(C)/2]	計	1,236,725 円									
補助金交付申請予定額(E)		1,236,725 円									
<補助対象外経費> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>その他工事費用・諸経費(F)</td> <td>計</td> <td>3,026,550 円</td> </tr> <tr> <td>消費税(G)</td> <td>計</td> <td>440,000 円</td> </tr> <tr> <td>見積書の合計金額(H) [(C)+(F)+(G)]</td> <td>計</td> <td>5,940,000 円</td> </tr> </table> ※別添の見積書の合計金額と一致していること			その他工事費用・諸経費(F)	計	3,026,550 円	消費税(G)	計	440,000 円	見積書の合計金額(H) [(C)+(F)+(G)]	計	5,940,000 円
その他工事費用・諸経費(F)	計	3,026,550 円									
消費税(G)	計	440,000 円									
見積書の合計金額(H) [(C)+(F)+(G)]	計	5,940,000 円									

各項目が自動計算されます。

見積書の補助対象外経費の合計を記入してください。

見積書の金額と一致させてください。

補助率の計算結果(D)と200万円の低い方の金額になります。



部位	費目	居室名	SII登録型番	メーカー名	製品名	施工面積 (㎡)	金額円 [税抜]
工費		リビング	JP999999	パネル工業株式会社	次世代パネルA	16.05	401,250
		和室(押入含む)	JP999999	パネル工業株式会社	次世代パネルA	14.70	367,500
施工面積・材料費計							
工事費							
小計							
材料費							
施工面積・材料費計						30.75	768,750
工事費							
補助対象製品の施工に必要な経費の内、補助対象となる工事費を一式で記入して下さい。							153,750
小計							922,500

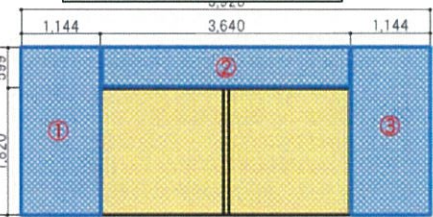
※ 1: 交付申請書(戸建) | 定数様式1: 実施計画書(戸建) | 定数様式2: 見積表 | 定数様式3: 断熱(パネル) | 定数様式4: 断熱(パネル)

**必要書類**

平面  
展開図  
求積図  
姿図(窓)  
写真(ガラス交換のみ)  
見積書

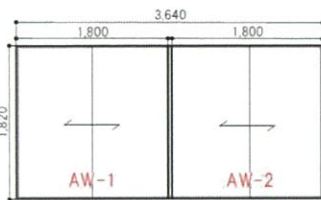


平面図



展開図

断熱パネル(必須製品) 内窓、ガラス(任意製品)



姿図

断熱パネルの施工面積求積表

部屋名	部位	計算式(mm)	面積(㎡)
リビングダイニング 南側	①	1,144 × 2,419	2.76
	②	3,640 × 599	2.18
	③	1,144 × 2,419	2.76
リビングダイニング 東側	④	3,712 × 2,419	8.97
	⑤	1,820 × 910	1.65
合計(①+②+③+④+⑤)			16.02

(小数点第3位切り捨て)

求積図

□メーカーが発行した設計チェックシート

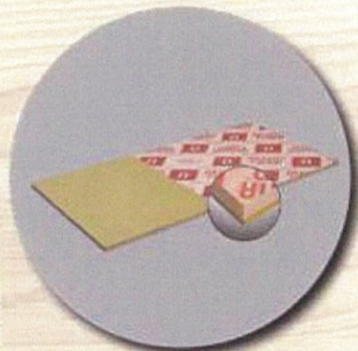
□H11年省エネ基準に該当する居室であることの確認資料



- ・原則、施工範囲に居室を含むこと。
- ・メーカーの発行した設計・施工マニュアルに従い、潜熱蓄熱建材を導入する居室等の床面積※あたりの蓄熱量が192kJ/ド以上となるように施工すること。ただし、全館空調方式の場合は延床面積あたりの蓄熱量が80kJ/席以上となるように施工すること。
- ※潜熱蓄熱建材を導入する居室等に間仕切がなく、空間がつながっている場合(吹抜け、階段等)は、同一空間と見なし、改修する居室等の床面積に含むこと。
- ・施工された製品の総厚みが25mm以内であること。
- ・以下のA)～ C)のいずれかに該当する居室等であること。
- A)平成11年省エネ基準以上の断熱性が確保された以下のa～ eいずれかに該当する居室等
- a住宅性能表示基準の温熱環境・エネルギー消費量に関する条件において、断熱等性能等級が4であること。
- bフラット35Sの省エネルギー性基準を満たしていること。ただし、中古タイプ基準は対象外とする。
- c長期優良住宅認定基準の省エネルギー性において、断熱等性能等級が4であること。
- d低炭素建築物認定住宅であること。
- e断熱材や開口部の仕様がわかる建築時・改修時の仕様書・図面等により証明できること。等
- B)本事業において床・壁・天井の1面以上と窓及びガラスを断熱改修する居室等
- C)以下のa～ hいずれかの事業において、床・壁・天井の1面以上と窓及びガラスを断熱改修した居室等ただし、当該事業で改修した部位を撤去せずに改修する場合に限る。
- a平成25年度住宅・ビルの革新的省エネ技術導入促進事業費補助金  
(既築住宅における高性能建材導入促進事業)
- b平成26年度住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業費補助金  
(既築住宅・建築物における高性能建材導入促進事業)
- c平成26年度住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業費補助金  
(既築住宅・建築物における高性能建材導入促進事業)(補正予算に係るもの)
- d平成27年度補正予算住宅省エネリノベーション促進事業費補助金
- e平成29年度省エネルギー投資促進に向けた支援補助金  
(省エネルギー投資促進補助事業のうち住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業)  
(高性能建材による住宅の断熱リフォーム支援事業)
- f平成30年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金  
(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス(ZEH)化等による住宅における低炭素化促進事業)  
(高性能建材による住宅の断熱リフォーム支援事業)
- g平成30年度省エネルギー投資促進に向けた支援補助金  
(住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業)(次世代省エネ建材支援事業)
- h平成31年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金  
(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス(ZEH)化等による住宅における低炭素化促進事業)  
(高性能建材による住宅の断熱リフォーム支援事業)

## H31年度 次世代省エネ建材支援事業

### ネオマ断熱ボード・ネオマフォーム・ジュピー ご紹介



**AsahiKASEI**

旭化成建材






# 最初に

旭化成建材は、日本の寒い家を社会的課題と考え、「断熱材を通じてその問題を解決する」ことを事業目標にしています。

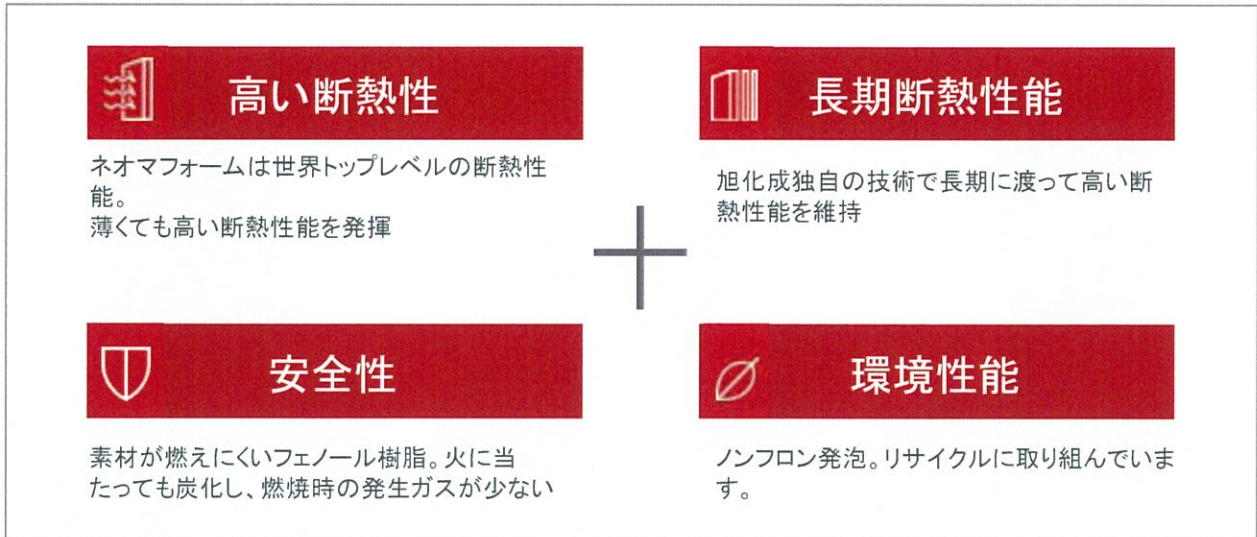


## 商品ラインナップ

	 <b>NEOMA. FOAM</b> ネオマフォーム	 <b>NEOMA JUPII.</b> ネオマジュービー	 <b>NEOMA ZEUS.</b> ネオマゼウス
熱伝導率 [W/(m·K)]	0.020	0.020	0.018 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">最高性能</span>
用途	壁・屋根・床	床充填専用	壁・屋根・床

# ネオマフォーム

## ネオマフォームの基本性能



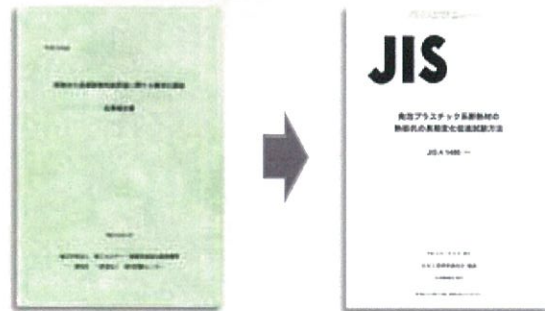
## これからの断熱材に求められること

### ■社会に求められる断熱材の長期性能

長期性能を加味した断熱性能評価の重要性

- 欧州では既に、加味した基準設定
- 国際規格ISO(ISO11561)で既に制定
- 2014年日本でも「発泡プラスチック系断熱材の熱抵抗の長期変化促進試験法(JISA1486)」が制定

2005年～2010年のNEDOの研究を基に日本でも遂にJISA1486が制定された



### ■ネオマフォームは他社に先駆け、長期性能試験を実施

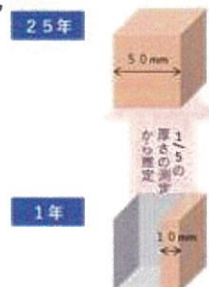
#### 試験概要

JISA1486に基づき、製品を薄くスライスした試験片を使用。芯材内部のガスの拡散を促進させ、経年劣化を短期間で評価。

#### 試験結果

ネオマフォーム50mm品 25年間の平均熱伝導率  $0.020\text{W}/(\text{m}\cdot\text{K})$

経年後の断熱性能の推定





# ネオマフォームの安全性

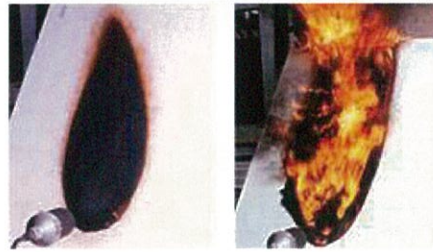
## ■社会に求められる断熱材の安全性能

### フェノールだから燃えにくい

フェノール樹脂の特性で、ネオマフォームは熱に強く、燃えにくい。

炎を当てても炭化するだけで、燃え上がりません。

燃焼比較実験(着火40秒後)



### 産業用資材でも多数の採用実績

[医薬品輸送]



命に係わる分野での採用

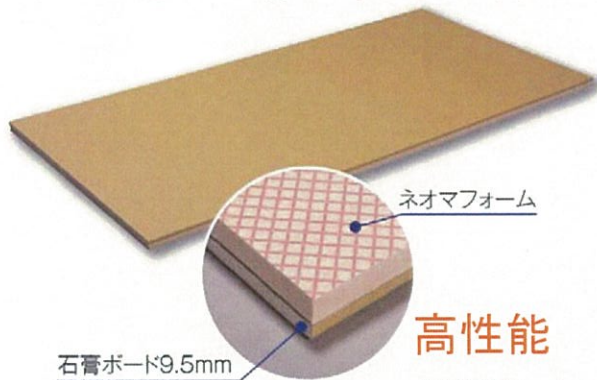
[新幹線]



耐燃焼性能を評価頂いての採用

# ネオマ断熱パネルについて

## 「ネオマフォーム」と「普通石膏ボード9.5mm」の複合品

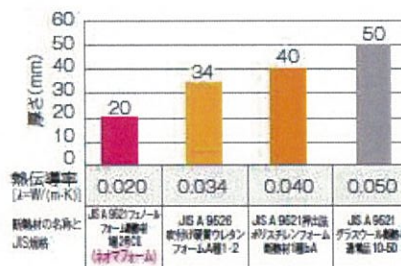


### 高性能

世界最高レベルの断熱性能を持つネオマフォーム。壁厚さを抑えてすっきり納めることが可能。

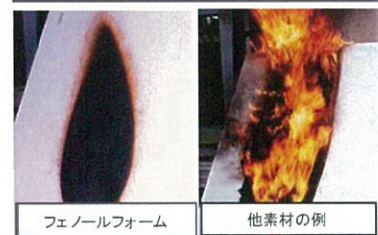
### 安全・安心

ネオマフォームは熱に強いフェノール樹脂。火に当たっても炭化し、燃焼時の発生ガスも少ない。準不燃材料認定品(QM-0825)。



同断熱性能厚さ比較[熱抵抗1.0(m<sup>2</sup>·K)/W]

燃焼比較実験



フェノールフォーム

他素材の例

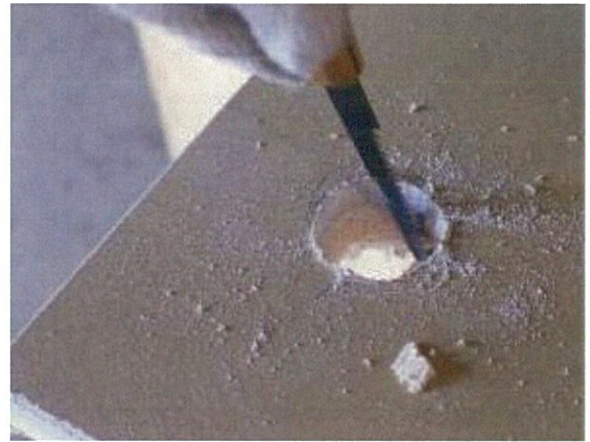


# ネオマ断熱パネルについて

□現場合せで切断・釘打ちが自在にできます。

□部屋内からの断熱リフォームに最適。

裏面は全面が断熱材なので、現場合せでの切断加工やパネルに任意の位置での釘打ちが可能

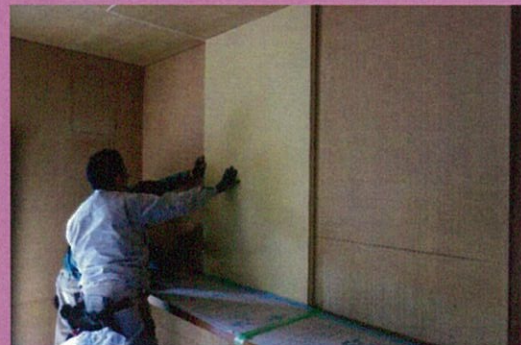


## 「ネオマ断熱ボード」でつくる「住みながら断熱」とは

既存壁を撤去し、断熱材施工後、新しく壁を復元する一般的な断熱改修



既存壁はそのままだに断熱と内装下地壁が一体の断熱ボードを施工」



壊さないから、ゴミの発生なく、一部屋を2日程度で完成できます。



# 住みながら断熱施工イメージ

1. 外気に接する面に断熱ラインを作ります
2. 室内側から施工

**任意**

窓: プラマードや  
スマートカバー工法



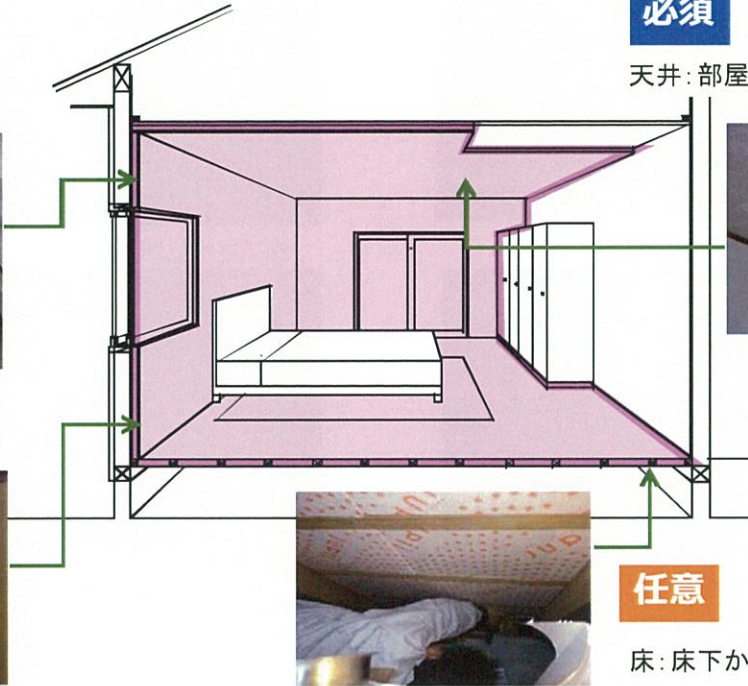
**必須**

天井: 部屋内から断熱ボード施工



**必須**

壁: 部屋内から  
断熱ボード施工



**任意**

床: 床下からジュピー施工



## ネオマ断熱パネル施工の流れ



施工前の様子



搬入された断熱ボード



施工の様子



施工の様子



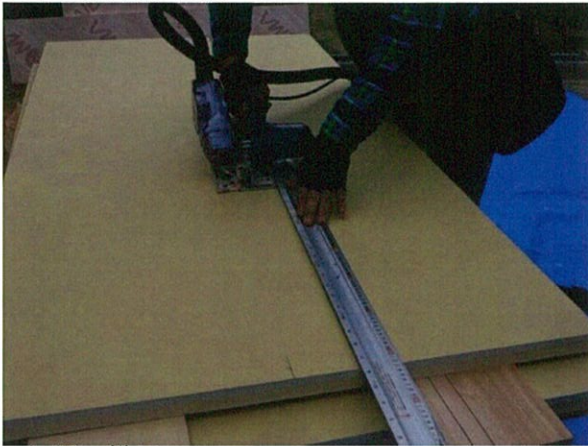
# ネオマ断熱パネル施工の流れ



ビスで下地に固定



施工された断熱ボード



切断の様子



エアンスリーブ・コンセント処理

# ネオマ断熱パネル施工性



フレーム材を施工



断熱ボードとの関係



完成



# 床下からの施工



勝手口近くの床下収納から施工)



施工後  
ジュピーは釘斜め打ちで施工

## 必須製品SII登録品

製品名	内蔵される断熱材			代表される断熱パネル		厚さ [mm]	SII登録番号
	品番	断熱材の種類	熱伝導率 [W/(m·K)]	熱抵抗※ [m·K/W]	断熱材の 面積割合[%]		
ネオマ断熱ボード	RS-20	フェノールフォーム 断熱材1種2号CII	0.020	1.04	100	29	JP030001
ネオマ断熱ボード	RS-25	フェノールフォーム 断熱材1種2号CII	0.020	1.29	100	34	JP030002
ネオマ断熱ボード	RS-30	フェノールフォーム 断熱材1種2号CII	0.020	1.54	100	39	JP030003

申請書記入例

明細書【断熱パネル】

軽便表より引用されます

軽便表より引用。軽便表の「断熱パネル及び断熱材の種類」を優先して記入すること。

居室Noと

税抜金額

見積書の補助対象経費

品名	数量	仕入れ単価	メーカー名	製品名	施工面積(m <sup>2</sup> )	補助率(%)	補助金額
①	JP030001	短化成建材(種)	ネオマ断熱ボード		16.05		000.000
						工事費(一括)	000.000
							000.000

パネル取付費、取付に必要な部材費など

# 任意製品SII登録品

商品名	内蔵される断熱材		グレード	SII登録番号
	断熱材の種類	熱伝導率 [W/(m・K)]		
ネオマフォーム	フェノールフォーム 断熱材1種2号C II	0.020	D1	DAKKN11PH1
ネオマジュービー	フェノールフォーム 断熱材1種2号C II	0.020	D1	DAKKN21PH1
ネオマゼウス	フェノールフォーム 断熱材1種2号C II	0.020	D1	DAKKN31PH1

## 材工工事費の目安

補助資料

### 木造住宅

断熱ボード、断熱補強工事のみ										
施工部位	部屋タイプ	断熱材 面積(m <sup>2</sup> )	材料費(円)			人工	施工費 (円)	合計 (円)	現場調査費 (円)	総合計 (円)
			断熱材	ビス・接着剤	小計					
壁	6畳	23.6	91,340	8,024	99,364	2	50,000	149,364	10,000	159,364
	8畳	27.2	105,270	9,248	114,518	2	50,000	164,518	10,000	174,518
	10畳	30.8	119,200	10,472	129,672	3	75,000	204,672	10,000	214,672
天井	6畳	9.7	26,440	3,305	29,745	2	50,000	79,745	10,000	89,745
	8畳	13.0	35,260	4,406	39,666	2	50,000	89,666	10,000	99,666
	10畳	16.2	44,070	5,508	49,578	3	75,000	124,578	10,000	134,578
床	6畳	9.7	27,610	1,652	29,262	1	25,000	54,262	10,000	64,262
	8畳	13.0	36,810	2,203	39,013	1	25,000	64,013	10,000	74,013
	10畳	16.2	46,010	2,754	48,764	1	25,000	73,764	10,000	83,764
壁・天井・ 床 合計	6畳	33.3	117,780	11,329	158,371	5	125,000	283,371	10,000	293,371
	8畳	40.2	140,530	13,654	193,198	5	125,000	318,198	10,000	328,198
	10畳	47.0	163,270	15,980	228,014	7	175,000	403,014	10,000	413,014

※人工は20m<sup>2</sup>/人・日より、最低2人工以上として想定。ロスは見込んでおりません。

※ビス、接着剤の価格はヒアリングによる。

※断熱ボード、ジュービーの金額は設計価格



## RC住宅

### 施工方法（既存壁・天井撤去の上、施工。天井は新規取付）

（1）壁：GL工法+小口接着剤工法 断熱ボード RS-25想定

（2）天井（折り返し部）：接着剤+両面テープ固定 ネオマフォーム 20-R6 新規天井設置

断熱ボード、断熱補強工事のみ

施工部位	部屋タイプ	断熱材面積(m2)	材料費(円)				人工	施工費(円)	合計(円)	現場調査費(円)	総合計(円)
			断熱材	小口接着剤	GL・接着剤	小計					
壁	6畳	23.6	60,660	2,130	7,080	69,870	2	50,000	119,870	10,000	129,870
	8畳	27.2	69,910	2,450	8,160	80,520	2	50,000	130,520	10,000	140,520
	10畳	30.8	79,160	2,780	9,240	91,180	3	75,000	166,180	10,000	176,180
天井 断熱補強	6畳	5.8	11,430	0	3,480	14,910	1	25,000	39,910	10,000	49,910
	8畳	6.6	13,010	0	3,960	16,970	1	25,000	41,970	10,000	51,970
	10畳	7.4	14,580	0	4,440	19,020	1	25,000	44,020	10,000	54,020
壁・天井 合計	6畳	29.4	72,090	2,130	10,560	84,780	3	75,000	159,780	10,000	169,780
	8畳	33.8	82,920	2,450	12,120	97,490	3	75,000	172,490	10,000	182,490
	10畳	38.2	93,740	2,780	13,680	110,200	4	100,000	210,200	10,000	220,200

※人工は20m2/人・日より、最低2人工以上として想定。ロスは見込んでおりません。

※GLボンド、接着剤の価格はヒアリングによる。

※ネオマ断熱ボード、ネオマフォームは設計価格です。

【お客様向け提案資料】

DAIKEN

## リフォームで「調湿建材」を採用しませんか

～経産省 次世代省エネ建材支援事業（補助金）のご案内～

大建工業株式会社

2019年度版 2019.4.26修正



## ●次世代省エネ建材支援事業を使って、お得にリフォームを

住みながら「短工期」で「省エネ」改修をお考えの方へ！



### リフォームでお得に 「調湿建材」を採用するチャンスです！

**お得！**

昨年からスタートした「次世代省エネ建材支援事業」を使えば、  
断熱パネルと窓、調湿建材のリフォームで  
『材料・工事費の半分』が国から補助されます。  
(補助額は、戸建住宅なら最大200万円、マンションなら最大125万円)



住宅の省エネ・省CO2化を図るリノベーションを促進するため、省エネ性能が高い建材を用いた断熱改修を支援する国の補助制度です。

※短工期で施工可能な高性能断熱パネル（壁を壊さず室内から上張り取付）等による断熱リフォームと調湿建材など付加価値を有する省エネ建材を用いた住宅のリフォームが補助対象となります。



DAIKEN

All contents copyright ©DAIKEN CORPORATION All rights reserved

2

## ●断熱リフォームに、調湿建材をプラスして住まいを快適に



こんな悩みをお持ちではありませんか？

- 夏や梅雨時の室内のジメジメを何とかしたい。
- 冬、暖房しているときは室内が乾燥しているのに、朝起きると窓ガラスが結露している。
- 押入れ、収納の中や脱衣室が、湿気でカビ臭い。



- ◆冷房しても家の中がなかなか涼しくならない。暖房しても何だか肌寒い。
- ◆夏冬の光熱費を抑えたい。

- 築20年でそろそろリフォームしたいけど、できれば住みながら工事したい。
- 調湿建材も興味あるけど、工事の予算のことを考えると手が届かないかな・・・



調湿建材で住まいの「湿気の悩み」を解消して快適に暮らしませんか？

DAIKEN

All contents copyright ©DAIKEN CORPORATION All rights reserved

3

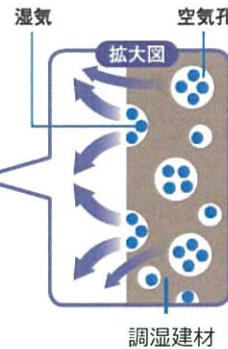
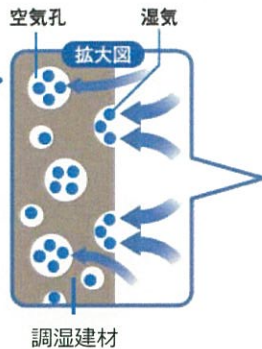


## ● 調湿建材とは

### 湿度が高い時は

空気中の湿気を吸い込んで、サラッと爽やかに

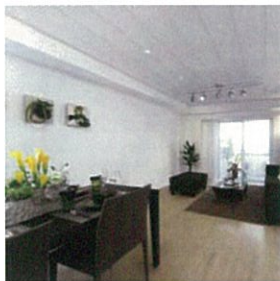
微細な空気孔に余分な湿気を吸収して、室内の空気をサラッと爽やかに。梅雨時などのジメジメ感を和らげます。



### 湿度が低い時は

ため込んだ湿気をはき出してしっとり潤いを

湿度が低くなると、ため込んだ湿気を放出して乾燥しすぎを抑えます。過乾燥になりがちな冬の空気を快適に。



40%~70%のちょうどいい快適な湿度を保ちます。

### ■ 快適な湿度環境

乾燥 ← → 多湿

0%~40%以下	40~70%	70%~100%
肌荒れ	人が快適と感じる湿度	結露が発生
ウイルスが繁殖		カビの繁殖
喉や鼻の痛み		ダニが発生
アレルギー疾患		
カラカラ不快	健康快適	ジメジメ不快

DAIKEN

All contents copyright ©DAIKEN CORPORATION All rights reserved

4

## ● 建産協の調湿建材マークとは



調湿建材

(一社)日本建材・住宅設備産業協会

(一社)日本建材・住宅設備産業協会(建産協)では、2007年より「調湿建材表示制度」を運営しています。

調湿性能、品質管理体制等の所定の基準を満たした製品を協会が審査・登録し、その証として製品に調湿建材マークが表示されます。

### ● 調湿建材表示制度のメリット

ガラス、金属、プラスチックを除いて、多くの材料は多孔材料であり、大小の差はありますが吸放湿性を有しています。

しかし、吸放湿性があるものすべて調湿建材と呼べるかというところではなく、室内空間で調湿するには、ある程度の吸放湿性を備えている必要があります。

調湿建材表示制度では、中湿域(50%-75%)における吸放湿性を重視し、要求基準に適合する建材に、調湿建材マークを与えています。

DAIKENの補助対象製品は全て調湿建材マークを取得しています

DAIKEN

All contents copyright ©DAIKEN CORPORATION All rights reserved

5



## ●調湿建材で冬を快適に

温度が低くても、**湿度**を上げれば快適に・・・

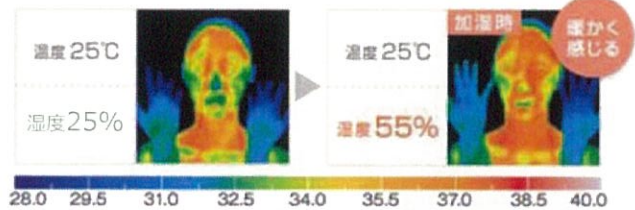
春と秋では、気温はさほど変わらないのに、春の方が暖かく、秋は肌寒く感じますが、これには、湿度が関係しています。

気温が同じでも「湿度が高いと暖かく感じる」ため、秋よりも湿度が比較的高い春の方が、暖かく感じるのです。

加湿をしながら暖房をすると、より暖かく感じられるので、**加湿をしないで暖房したときより、低い設定温度でも快適に過ごせる**というわけです。

→**ただし、加湿をしすぎると「結露」が心配です。**

同じ温度でも  
**湿度を上げれば快適**



(引用：ダイキン工業（株）ウェブサイトより)  
<https://www.daikin.co.jp/air/knowledge/labo/dry/>

適度な湿度調整で、暖房による体感温度も上げつつ、結露も防ぎたい・・・

DAIKEN

All contents copyright ©DAIKEN CORPORATION All rights reserved

6

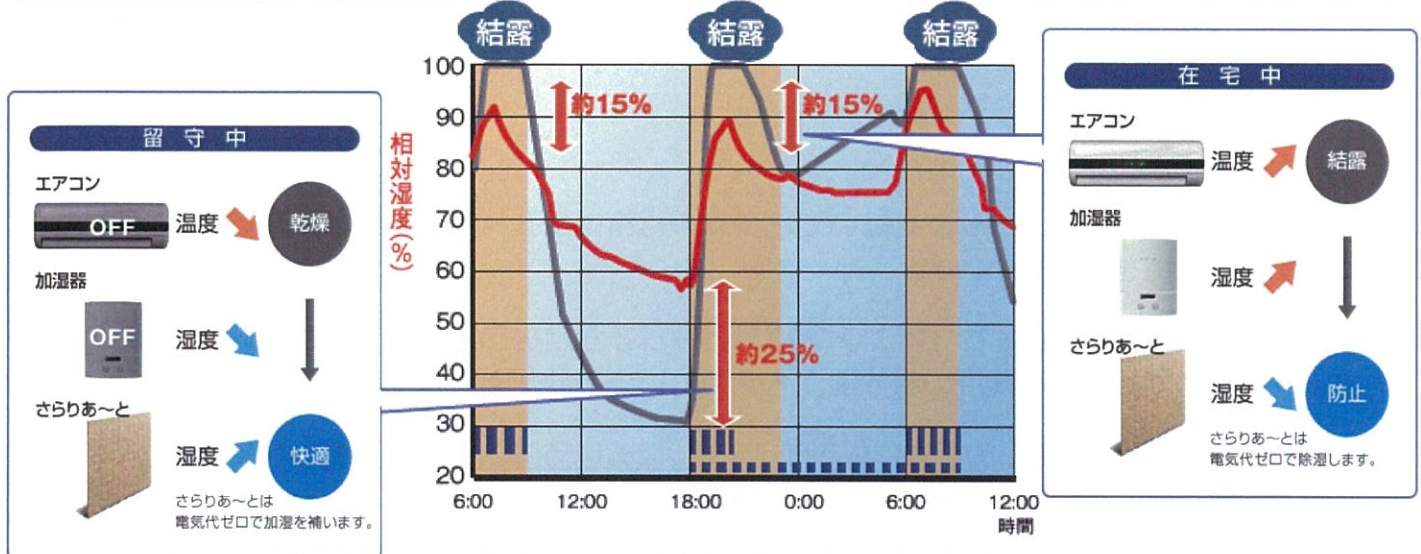
## ●調湿建材で冬を快適に

調湿建材をプラスすることで、湿度の変動を抑え ちょうどよくコントロール

【過乾燥防止】  
お肌・のどの乾燥を  
適度な湿度で抑えます！

— クロス仕上げ(非調湿)  
— 弊社調湿建材仕上げ：天井 + 壁  
— エアコンON 22℃  
■ ■ ■ ■ ■ 加湿600g/h ■ ■ ■ ■ ■ 加湿200g/h

【高湿予防】  
吸湿して  
窓の結露を軽減します！



■1日の湿度変化を調湿空間と非調湿空間で比較  
社内実験に基づくグラフになります。

DAIKEN

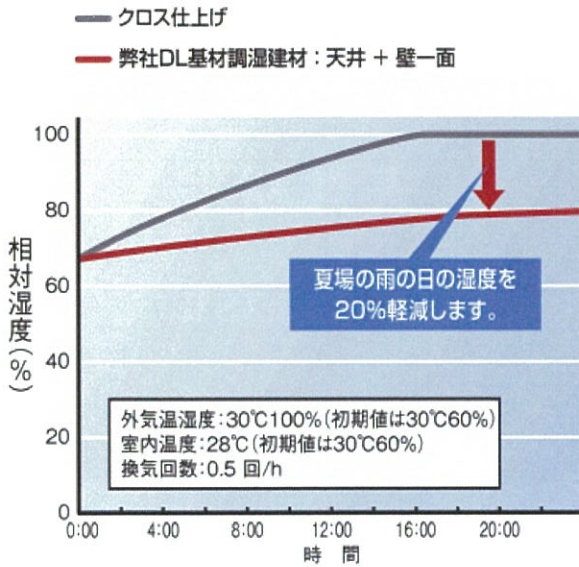
All contents copyright ©DAIKEN CORPORATION All rights reserved

7



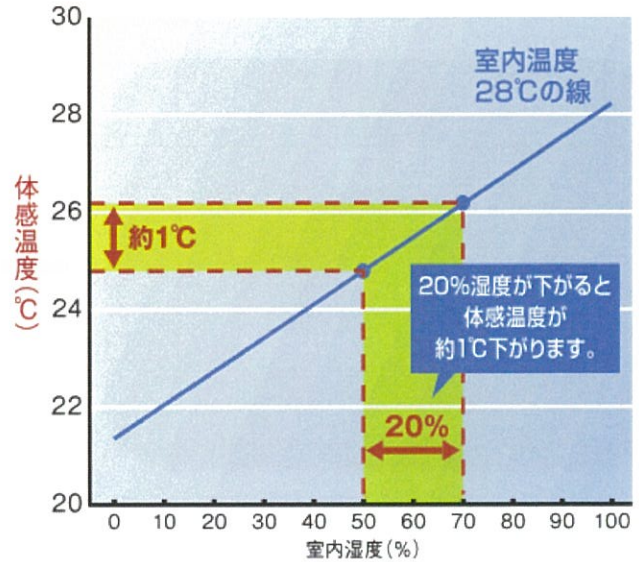
## ● 調湿建材で夏を快適に

夏場・梅雨時のジメジメを抑えます



■ 梅雨時によるエアコン運転(28℃設定)時の湿度変化シミュレーション比較

夏場の多湿状態を抑えることで体感温度を下げる効果があります



■ 体感温度と湿度の関係(室内温度28℃の場合)

DAIKEN

All contents copyright ©DAIKEN CORPORATION All rights reserved

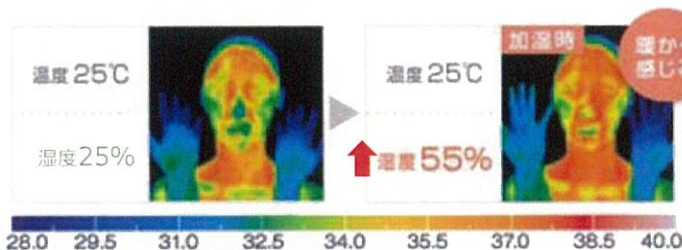
8

## ● 調湿建材の効果

調湿建材は、断熱材や高性能の窓・サッシのように直接省エネにつながるものではありませんが、以下の効果が期待されます。

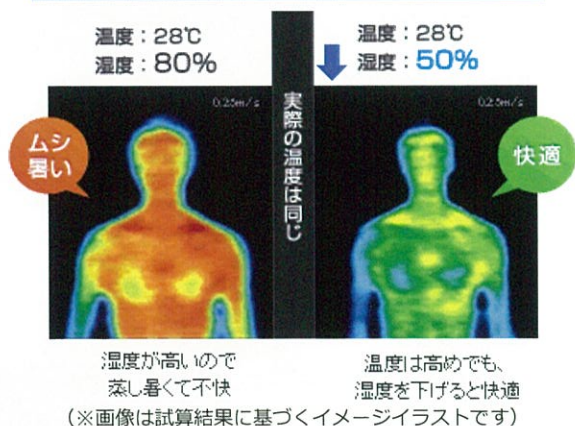
### ① 快適性向上により、エネルギー消費を削減できる

【冬】 調湿建材で湿度アップ  
同じ温度でも  
湿度を上げれば快適



(引用:ダイキン工業(株)ウェブサイトより)  
上図 <https://www.daikin.co.jp/air/knowledge/labo/dry/>  
右図 <https://www.daikin.co.jp/air/knowledge/labo/tsuyu/>

【夏】 調湿建材で湿度ダウン  
同じ温度でも  
湿度を下げれば快適



### ② 高気密高断熱化に伴う結露発生を軽減・抑制できる

DAIKEN

All contents copyright ©DAIKEN CORPORATION All rights reserved

9



壁材

さらりあ〜と  
さらりあ・収納壁材



天井材

クリアトーン12SⅡ

DAIKEN

All contents copyright ©DAIKEN CORPORATION All rights reserved

● 調湿壁材さらりあ〜と ラインナップ

プライムパレット

立体的にみえるインクジェット印刷  
による独創的なデザイン  
9mm厚、303×606mm



テキスタイル

新感覚の素材感が魅力の  
調湿壁材  
9mm厚、455mm×2,420mm



シンプルクリーン

ビオタスク機能により、壁に付着した  
ウイルスの繁殖を抑制  
6mm厚、303×606mm



ナチュラルグリッド

光の変化で表情が変わる  
石目をモチーフにした  
立体柄が特長的  
6mm厚、606mm×606mm



セレクトタッチ

両面テープと接着剤で簡単に施工  
シミや汚れが付きにくい防汚加工  
6mm厚、303×303mm



シンプルパレット

空間の印象に合わせて選べる  
デザイン  
9mm厚、303×606mm



DAIKEN

All contents copyright ©DAIKEN CORPORATION All rights reserved



●各部屋におすすめの調湿壁材さらりあ〜と



DAIKEN

All contents copyright ©DAIKEN CORPORATION All rights reserved

12

●各部屋におすすめの調湿壁材さらりあ〜と



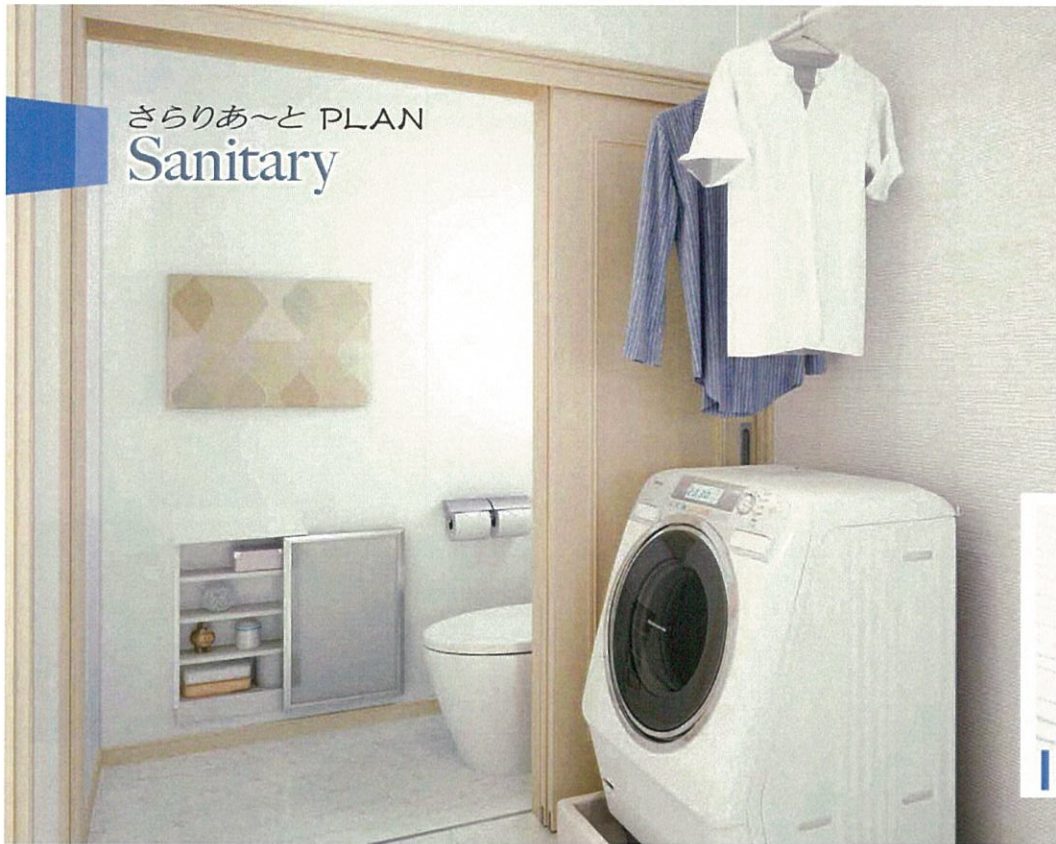
DAIKEN

All contents copyright ©DAIKEN CORPORATION All rights reserved

13



## ●各部屋におすすめの調湿壁材さらりあ〜と



さらりあ〜とシンプルクリーン  
<ストライプ柄(パールホワイト)>

DAIKEN

All contents copyright ©DAIKEN CORPORATION All rights reserved

14

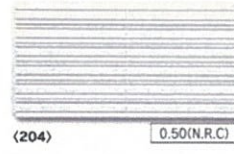
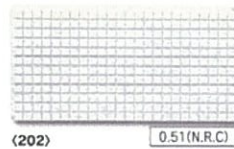
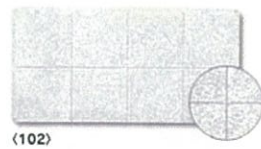
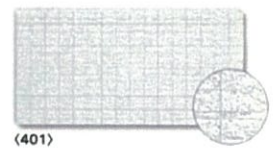
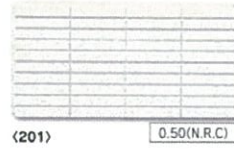
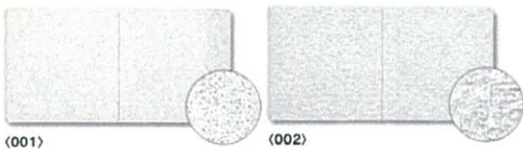
## ●天井材クリアトーン12SⅡ ラインナップ

フラット柄

パターン柄

リブ柄  
グリッド柄

ラインアート



サイズ：厚さ12mm 303×606mm

DAIKEN

All contents copyright ©DAIKEN CORPORATION All rights reserved

15



# ●天井材クリアトーン12SⅡの調湿性能

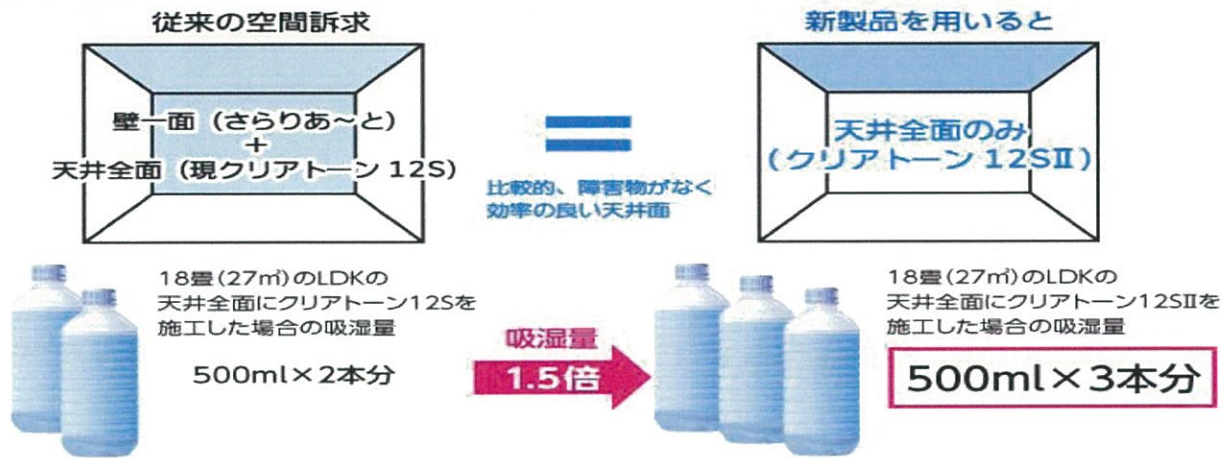
## クリアトーン12SⅡ 調湿性能UP



クロスより優れた性能(吸音・調湿)の天井材で快適で省エネな空間をご提供。  
空間内で最も効率の良い天井面に最適な、従来品よりも約1.5倍の調湿性能をもつ天井材です。

### 調湿性能アップ

多湿時のカビやダニの発生や乾燥時のウイルスの活動を抑える、  
40～70%の心地よい湿度をキープするためには・・・



DAIKEN

All contents copyright ©DAIKEN CORPORATION All rights reserved

# ●天井材クリアトーン12SⅡの吸音性能

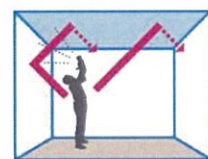
## 音の響きを心地よく！

室内が反響しやすい素材で囲まれていると残響時間が長くなり、室内に音がうるさく響きます。  
吸音天井材にすると、同じ条件で掃除機をかけた時でも、クロス仕上げの天井に比べて約3割音を軽減しました。

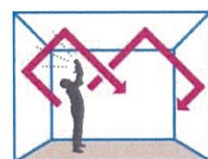
「クリアトーン12SⅡ」は、一般のクロスに比べて3～5倍の吸音性能を発揮。  
(※ 室内の残響時間は、0.5秒前後が理想)

■残響時間シミュレーション比較  
(吸音率測定結果より算出/床はフローリング仕上げ)

吸音の仕組み

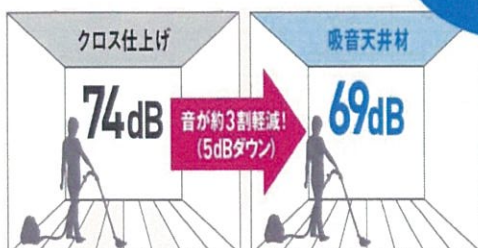


DAIKENの吸音天井材「クリアトーン」  
残響音を抑えうるさく響きません  
残響時間：約0.6秒/50Hz  
(20畳の場合)



一般のクロス仕上げ天井  
残響時間が長く音が大きく響きます  
残響時間：約1.4秒/50Hz  
(20畳の場合)

5dBダウンすると音が約3割軽減したように聞こえます。



DAIKEN

All contents copyright ©DAIKEN CORPORATION All rights reserved

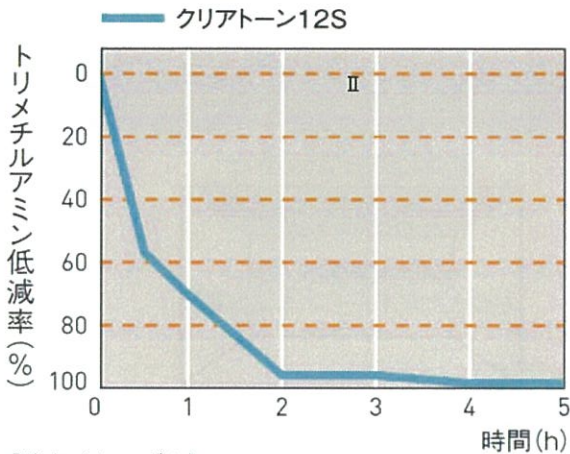


## ●天井材クリアトーン12SⅡの消臭性能

気になる**ニオイ**を爽やかに！

トリメチルアミン消臭試験(社内試験)※1

台所臭(生ゴミ臭)・ペット臭



【消臭メカニズム】

ロックウール吸音板の基材特性である多孔質性による「物理吸着」

+

仕上塗料に添加している消臭剤による「化学吸着」

「クリアトーン12SⅡ」は、気になるニオイを優れた『消臭性能』で軽減します。

キッチン特有のニオイやペットの気になるニオイの原因物質であるトリメチルアミンを吸着して抑えます。



トイレの臭いの代表であるアンモニアは床に飛び散った尿などが飛び散って臭いが残りやすいもの。残った臭いを天井材が吸着し、ニオイを軽減します。排水臭にも効果を発揮しますので、洗面脱衣所やキッチンにもオススメです。

DAIKEN

All contents copyright ©DAIKEN CORPORATION All rights reserved

18

## ●DAIKENの調湿建材 補助対象製品 (SII登録予定)

(2018年度登録製品をそのまま移行登録しています)

SII登録型番	シリーズ名又は製品名	サイズ(単位:mm)			使用部位
		W	H	厚さ	
JC011801	さらりあ〜と ナチュラルグリッド	606	606	6	壁
JC011802	さらりあ〜と シンプルクリーン	303	606	6	壁
JC011803	さらりあ〜と セレクトタッチ	303	303	6	壁
JC011804	ダイロートン健康快適天井材 クリアトーン12SⅡ	303	606	12	天井
JC011805	ダイロートン健康快適天井材 クリアトーン12SⅡラインアート	303	606	12	天井
JC011808	ダイロートン健康快適天井材 クリアトーン12Sトイレ天井	303	910	12	天井
JC011809	さらりあ・収納壁材 押入ボード	910	1820	9	壁
JC011810	さらりあ・収納壁材 収納ボード	910	1820	9	壁
JC011811	さらりあ〜と プライムパレット	303	606	9	壁
JC011812	さらりあ〜と シンプルパレット	303	606	9	壁
JC011813	さらりあ〜と テキスタイル	455	2420	9	壁
JC011814	ダイケンボード 木質調湿天井材 しずかW	303	606	12	天井

注) 登録型番JC011806とJC011807は、廃番製品です。(クリアトーン12S、同ラインアート)

DAIKEN

All contents copyright ©DAIKEN CORPORATION All rights reserved

19



## ● 「調湿建材」の補助要件

むずかしい要件はありません！

### ① 調湿建材単独では補助の対象になりません。

必須製品（断熱パネルまたは潜熱蓄熱建材）を用いた改修と同時に行うこと。

（必須製品で改修を行っていない部屋に調湿建材を使っても補助対象になります）

<参考> **必須製品（断熱パネル）による改修の要件**

- 原則、既存の壁・天井・床を撤去せず室内側から施工する。
- 施工範囲に居室（LDK、寝室、書斎、客間など）または玄関、トイレ、浴室、洗面脱衣のいずれか一室を含むこと。その部屋の外気に接する壁・天井・床の“少なくとも1部位1面”に施工。

### ② 調湿建材は室内側から施工すること。

※昨年度の「既存の壁・天井・床を撤去せず」という表現が削除されました。

※当補助金は、短工期・省施工を重視しているため、既存のクロス剥がし程度なら許容されます。

下地の石膏ボードやベニヤ板を撤去するのは補助の主旨から外れますので要注意。

調湿建材を張る部位で、一部下地の劣化（腐朽、カビなど）が著しい場合などは、撤去・張替えも考えられますが、その経費は【補助の対象外】と考えておくのが無難です。

### ③ 吸放湿を妨げない適切な内装仕上げとすること。

（調湿建材の表面に、吸放湿を妨げる塗装や透湿しないシート等を上張りしない）

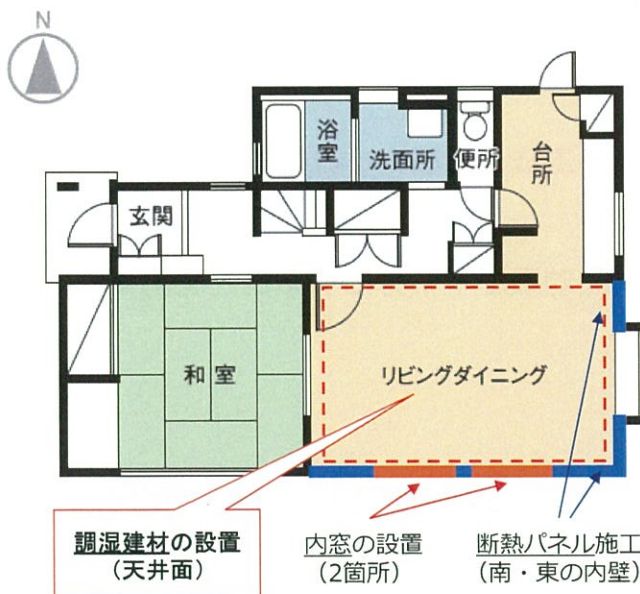
DAIKEN

All contents copyright ©DAIKEN CORPORATION All rights reserved

20

## ● 断熱パネル・内窓・調湿建材を組み合わせたモデルケース

### 戸建住宅の改修イメージ



調湿建材の設置  
(天井面)

内窓の設置  
(2箇所)

断熱パネル施工  
(南・東の内壁)

#### <導入必須の製品>

リビングダイニングの南面と東面の内壁に断熱パネルを施工

● 補助対象経費 約15万円



#### <任意製品>

リビングダイニングの南面のテラス窓2箇所に内窓を設置

● 補助対象経費 約35万円



#### <任意製品>

リビングダイニングの天井全面(12畳)に調湿建材を設置

● 補助対象経費 約20万円



● 補助対象経費の合計 約70万円

⇒ 【補助金額】 約35万円

\* (一社) 環境共創イニシアチブのパンフレットに掲載された事例に「調湿建材」を追加したものです。

DAIKEN

※改修イメージに記載されている施工部位や金額は一例であり、補助金額を約束するものではありません。

All contents copyright ©DAIKEN CORPORATION All rights reserved

21



## ●断熱パネル・内窓・調湿建材を組み合わせたモデルケース

### 集合住宅(中住戸)の改修イメージ



\* (一社)環境共創イニシアチブのパンフレットに掲載された事例に「調湿建材」を追加したものです。

#### <導入必須の製品>

北面(洋室1と洋室2)の内壁に  
真空断熱パネルを施工

●補助対象経費 約30万円



断熱パネル

#### <任意製品>

北面(洋室1と洋室2)の  
腰窓2箇所内窓を設置

●補助対象経費 約12万円



窓\*

#### <任意製品>

リビングダイニングの天井全面  
(12畳)に調湿建材を設置

●補助対象経費 約20万円



調湿建材

●補助対象経費の合計 約62万円

⇒【補助金額】 約31万円

DAIKEN

※改修イメージに記載されている施工部位や金額は一例であり、補助金額を約束するものではありません。

All contents copyright ©DAIKEN CORPORATION All rights reserved

22

## ●補助制度を上手く活用するポイント

### ●「断熱パネル」を使うのは最小限でも構いません。

少ない施工面積で要件を満たせる所(洗面脱衣やトイレなどの外壁周り)で最低限の必須要件をクリアする。

### ●断熱パネルを設置した居室等で、「窓(カバー工法、内窓)の改修」も行う場合、

全ての窓で行うことをおすすめします。

※改修しなかった窓に結露が集中したり、断熱効果が不十分になることを防ぐ。

### ●調湿建材の設置はどの部屋でもOK。

優先順位は、①天井全面 ②外壁面の壁

特に、断熱パネルを上張りした箇所で、仕上げを「クロス」とした場合の費用は補助対象となりませんが、**調湿建材なら補助対象になる**(半額補助)なので、是非おすすめします。

### ●補助対象経費は、必ず40万円以上となるように注意。

DAIKEN

All contents copyright ©DAIKEN CORPORATION All rights reserved

23



キノウを超える、ミライへ。

**DAIKEN**

ご清聴ありがとうございました

All contents copyright ©DAIKEN CORPORATION All rights reserved

**YKK  
AP**

リノベーション本部営業推進室  
令和元年05月01日

**次世代省エネ建材支援事業**

**補助対象商品のご紹介**

**YKK AP(株)**



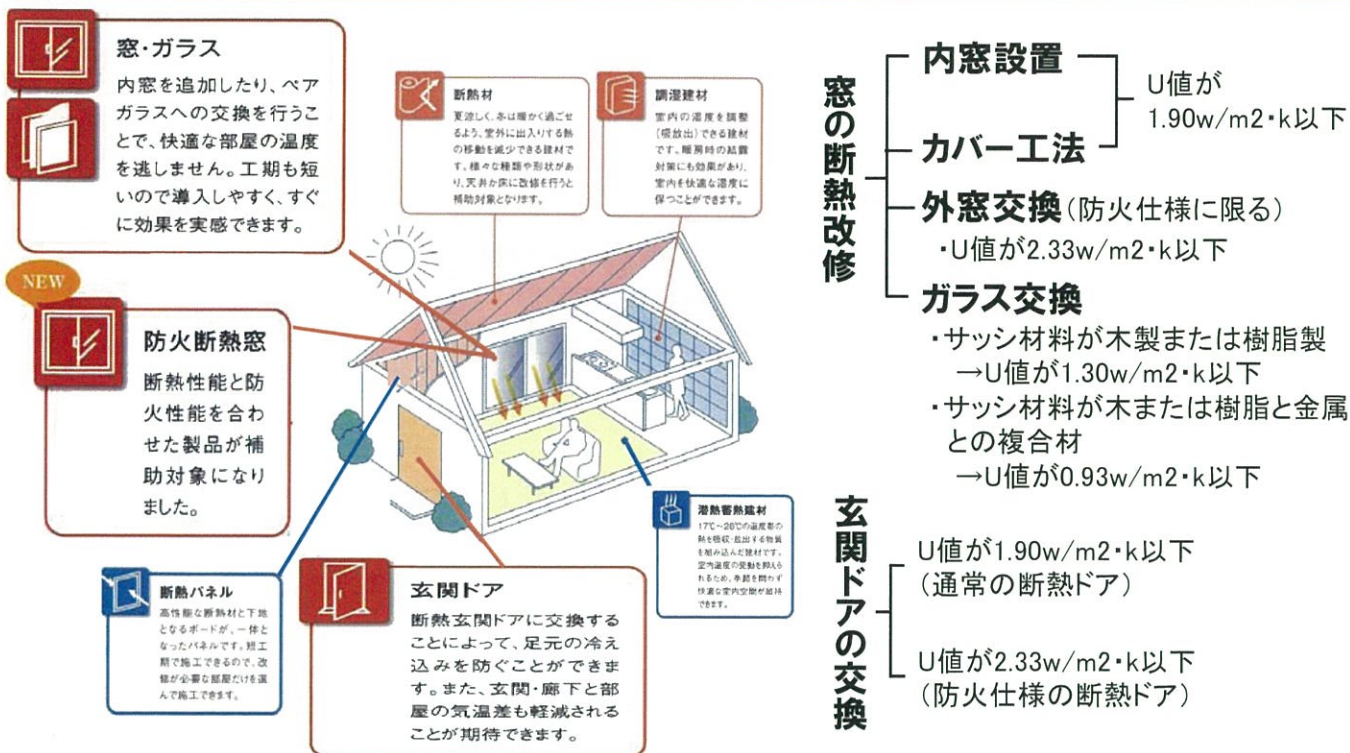


図1. 制度における開口部の性能仕様 (SIIのリーフレットを基に作成)

	内窓	ガラス交換	カバー工法による窓交換
シリーズ	ブラマードU【Low-E複層ガラス】 	Low-E複層ガラス【アルゴンガス入り】(A T付は対象外) 	マドリモ 樹脂窓 
シリーズ	カバー工法による窓交換		
シリーズ	マドリモ トリプルガラス樹脂窓 	マドリモ 北海道 樹脂窓 	マドリモ 北海道 トリプルガラス樹脂窓 
シリーズ	外窓交換		
シリーズ	APW330 防火窓 		

- いずれもSII(環境共創イニシアチブ)に登録された商品であること
- ・ 図はいずれも登録予定の商品(5月10日および31日に正式公表の予定)

図2. 制度におけるYKK APの予定対象商品(1)



玄関ドア交換※1			
シリーズ	InnoBest D70 	InnoBest D50 【樹脂複合枠】 【形材断熱枠 片開き】 【形材断熱枠 両開き】 	InnoBest D50 防火ドア 【形材断熱枠】 
シリーズ	玄関ドア交換 防火ドアGシリーズ ヴェナート D2仕様（丁番） 		

- いずれもSII(環境共創イニシアチブ)に登録された商品であること
- ・ 図はいずれも登録予定の商品(5月10日および31日に正式公表の予定)

図3. 制度におけるYKK APの予定対象商品(2)

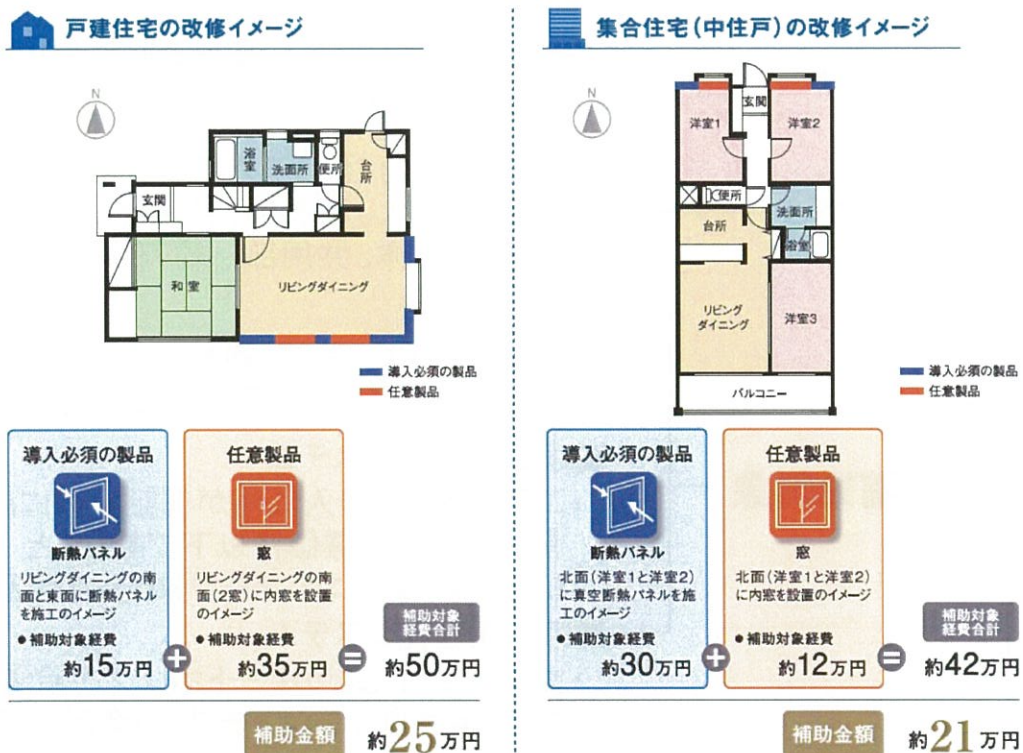


図4. 申請可能な最小限の断熱改修事例



通称:断熱リノベ

# 高性能建材による

# 住宅の断熱リフォーム支援事業

## YKK AP(株)

6

### 高性能建材による住宅の断熱リフォーム支援事業

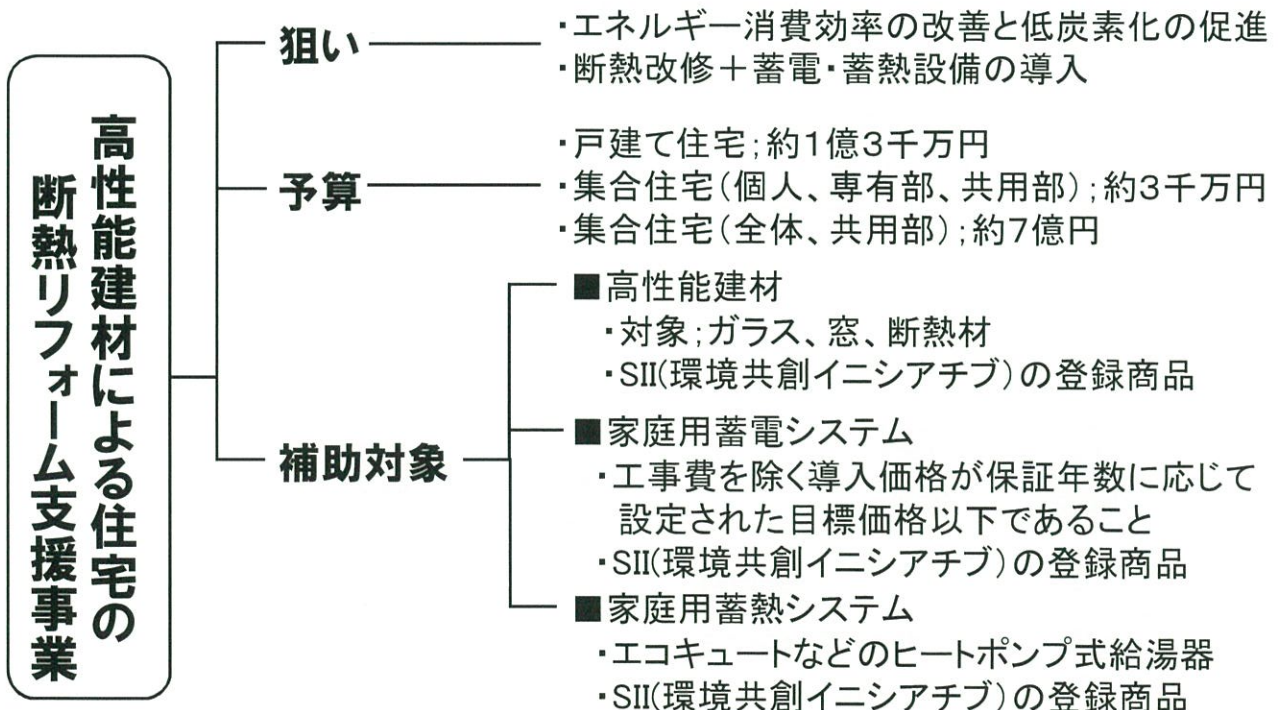


図1. 制度の狙い、予算、補助対象

7



補助対象製品	補助率等		補助金の上限額
高性能建材 (ガラス・窓・断熱材)	補助対象経費の1/3以内		戸建住宅1戸当たり:120万円又は40万円 <sup>※1</sup> 集合住宅1戸ごとに:15万円 <sup>※2</sup>
家庭用蓄電システム	設備費	2万円/kWh <sup>※3</sup>	補助対象経費の1/3又は20万円のいずれか低い金額
	工事費	補助対象経費の1/3以内	5万円/台
家庭用蓄熱設備	補助対象経費の1/3以内		5万円/台

※1 戸建住宅において、窓のみを改修する場合は、40万円を適用する。

※2 集合住宅(全体)においても適用とする。

例) 補助対象経費を1/3にした金額が、集合住宅50戸の内、30戸が20万円、20戸が10万円の場合、  
30戸×15万円+20戸×10万円=650万円が補助金交付申請予定額となる。

※3 初期実効容量(SII)のホームページの環境省ZEHの蓄電システム登録済製品一覧を参照のこと。)を適用する。

図2. 補助率および限度額

学識経験者を含む関係分野の専門家で構成された審査委員会で定められた審査基準に基づき、申請のあった事業について審査を行う。

**戸建** **集個**

到着順に審査を行い、随時採択する。

ただし、補助事業公募期間内であっても住宅区分ごとの申請金額の合計が予算に達した日の前日をもって公募を終了し、**予算に達した日以降に到着した申請は、原則受け付けないので、十分注意すること。**

なお、予算に達した日及びその翌営業日以降に到着した申請書については、申請者又は手続代行者を介した場合は手続代行者に着払いで返却する。

次世代への支援  
に同じ

**集全**

公募期間内に到着した案件について審査(「2-2.審査の方法について」)を行い、事業規模の範囲内で上位のものから順に採択する。

## 2-2. 審査の方法について **集全**

集合住宅(全体)における審査・選考は以下の通りとする。

### ① 審査基準

CO<sub>2</sub>排出抑制評価点(集合住宅(全体)の断熱改修におけるCO<sub>2</sub>排出抑制の効果を数値化したもの。)を用いる。

$$\text{CO}_2\text{排出抑制評価点} = \frac{\sum_{i=1}^n \text{施工面積}_i^{\text{※3}}(\text{m}^2) \times \text{係数}_i^{\text{※4}}}{\text{改修する住戸の延べ床面積の合計}(\text{m}^2)} + \alpha^{\text{※5}}$$

### ② 選考方法

事業規模の範囲内でCO<sub>2</sub>排出抑制評価点が高い案件を上位とする。

また、CO<sub>2</sub>排出抑制評価点が同一と認められるものにあつては、補助対象経費の小さい案件を上位とする。

図3. 審査方法



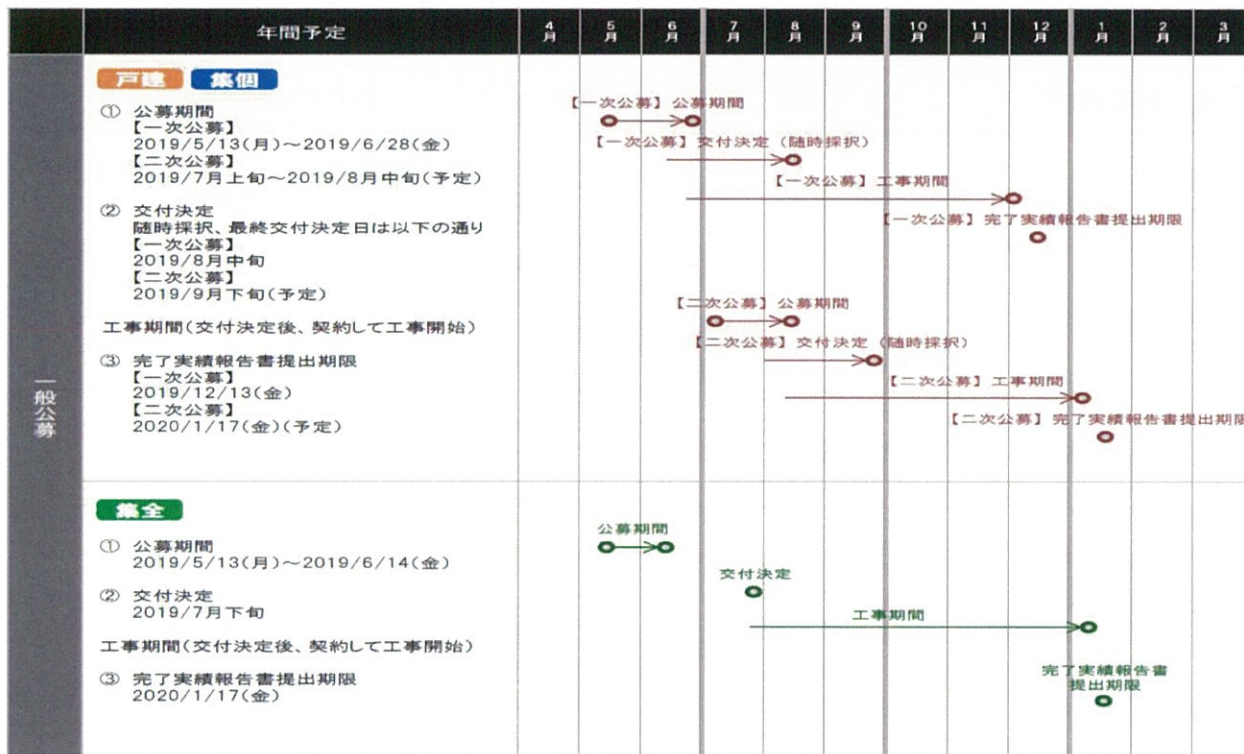


図4. 事業スケジュール

10

## ①改修する居室、部位

- A) 改修する部位は、「図7、図8エネルギー計算結果早見表」の組合せ番号から選択し、地域区分毎の最低改修率の要件を満たすこと。
- B) 居間又は主たる居室(就寝を除き日常生活上在室時間が長い居室等)を中心に改修すること。  
居間又は主たる居室を含まない改修を行う場合は、改修率要件を満たしていても補助対象とならない。
- C) 導入する断熱材及び窓・ガラスは、原則、改修する居室等の外皮部分(外気に接する部分)全てに設置・施工すること。
- D) 玄関外皮が改修対象となる事業においては、玄関ドアと一体でない窓・ガラスは改修すること。  
ただし、玄関ドアと一体不可分な開口部(袖ガラス・欄間ガラス等)は改修の対象外としてもよい。
- E) 断熱材及び窓・ガラスを改修する場合は、原則、外皮部分(外気に接する部分)のみ補助対象とする。

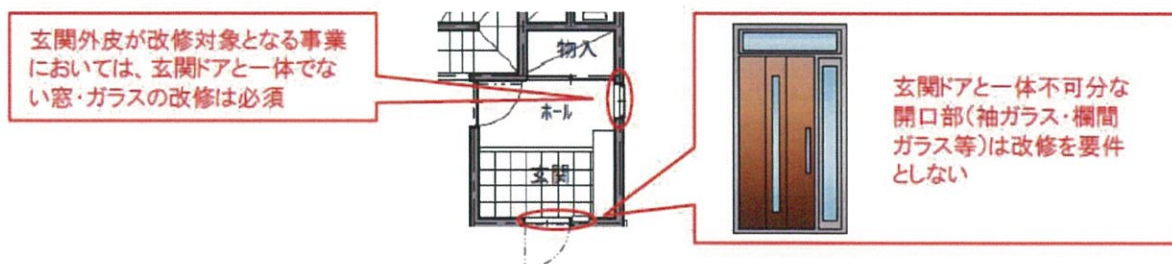


図5. 戸建住宅の改修－改修対象

11



## ②断熱材について

A) 下表1の性能値を満たすこと(重ね貼りも可とする)。

部位別の必要な性能値			
熱抵抗値(R値)			
天井		外壁	床
1~3地域	4~8地域		
5.4以上	2.7以上	2.7以上	2.2以上

(注1) 本値は本事業の適用判断のために用いるものであり、省エネ法に基づく性能値を保証しているものではないことに留意すること。

- B) 熱伝導率(λ値)が0.042以上の断熱材(グレードがD4のものは、天井断熱工事に用いる吹込み断熱材のみ対象とする)。  
 C) 天井改修においては、改修する居室等に関わらず、屋根の直下の天井、及び外気に接する天井の全てを改修すること。ただし、バルコニー等で改修が困難な部分は改修しなくてもよい(最大15%まで)。  
 D) 床改修<sup>※1</sup>において、改修する居室等に浴室及び玄関等を含む場合でも、土間床は改修しなくてよい。

## ③窓、ガラスの改修について

- A) 窓の改修工法は、外窓の交換・カバー工法、内窓の取り付け、ガラスの改修工法は、ガラス交換とする。  
 なお、ガラス交換においては、熱貫流率(Ug値)1.49以下の製品(グレードがG1のもの)に限り補助対象とする。  
 B) 換気小窓、300×200mm以下のガラスを用いた窓及び換気を目的としたジャロジー窓等は、改修を要件としない。ただし、補助対象製品を用いた改修を行う場合は補助対象としてもよい。  
 C) 窓及びガラスを改修対象部位とした場合も、テラスドア、勝手口ドアは改修を要件としない。  
 ただし、ドアに組み込まれたガラスの面積がドア面積の50%以上である場合で補助対象製品を用いた改修を行う場合は補助対象としてもよい。

図6. 戸建住宅の改修—断熱材、窓、ガラス

断熱部位数	組合せ番号	天井	外壁	床 <sup>※1</sup>	窓・ガラス	最低改修率(%)								
						地域区分								
						1	2	3	4	5	6	7	8	
4部位	1	天井	外壁	床	窓の改修、ガラスの改修	25	25	25	25	25	25	25	25	個別計算
3部位	2	天井	外壁		窓の改修、ガラスの改修	25	25	25	25	25	25	25	25	
	3	天井	外壁	床		25	25	25	25	25	25	25	25	
	4		外壁	床	窓の改修、ガラスの改修	25	25	25	25	25	25	50	25	
	5	天井		床	窓の改修、ガラスの改修	25	25	25	25	25	25	25	25	
	6	天井	外壁			25	25	25	25	25	25	25	25	
2部位	7	天井		床		25	25	25	25	25	25	25	25	
	8	天井			窓の改修、ガラスの改修	25	25	25	25	25	25	25	25	
	9		外壁		窓の改修	30	30	40	40	40	40	70	70	
	10		外壁		ガラスの改修	40	40	40	40	40	40	70	70	
	11		外壁	床		40	40	40	40	40	40	100	100	
	12			床	窓の改修	40	40	40	40	40	40	40	100	
	13			床	ガラスの改修	50	40	40	40	40	40	40	40	
1部位	14				窓の改修	100	100	100	100	100	100	100	100	

図7. エネルギー計算結果早見表—戸建住宅



①下表の該当住宅の地域区分に適合すること

部位	地域区分							
	1	2	3	4	5	6	7	8
窓・ガラス	○	○	○	○	○	○	○	個別計算

- ②窓・ガラス全部(玄関ドア以外のガラスを用いた開口部全て)を改修すること  
ただし玄関ドアと一体不可分な開口部(袖ガラス・欄間ガラスなど)は改修対象外としてよい
- ③換気小窓、300×200mm以下のガラスを用いた窓および換気を目的としたジャロジー窓等は改修を要件としない
- ④窓の改修工法はカバー工法、内窓の設置、ガラスの改修はカバー工法、ガラス交換  
なお、グレードがW6かつ防火仕様のカバー工法を導入する場合には同一住戸の全ての窓においてW6グレードのカバー工法窓を用いて改修のこと
- ⑤窓および断熱材を改修する場合は原則、外皮部分(外気に接する部分)のみ補助対象とする

図8. エネルギー計算結果早見表－集合住宅

## 【断熱材のグレード】

断熱材	
グレード	λ値[W/(m・K)]
D1	0.022以下
D2	0.023～0.032
D3	0.033～0.041
D4	0.042以上

## 【ガラスのグレード】

ガラス	
グレード	ガラス中央部のUg値[W/(㎡・K)]
G1	1.49以下
G2	1.50～2.33

## 【窓のグレード】

外窓 カバー工法窓(住宅用)		内窓 <sup>※3</sup>		カバー工法窓(ビル用)	
グレード	Uw値[W/(㎡・K)]	グレード	Uw値 [W/(㎡・K)]	グレード	Uw値 [W/(㎡・K)]
W1	1.30以下	W5	2.33以下	W6	2.33以下 (防火仕様は 2.91以下でも 可とする。)
W2	1.31～1.60				
W3	1.61～1.90				
W4	1.91～2.33				

図9. 各建材のグレード詳細



【戸建、集合共通】

(単位:円)

グレード ( )内は入値	補助単価			
	改修部位			
	天井		外壁	床
	1～3地域	4～8地域		
D1 (0.022以下)	6,000	5,000	7,000	7,500
D2 (0.023～0.032)	5,000	4,000	6,000	6,500
D3 (0.033～0.041)	4,000	3,000	5,000	5,500
D4 (0.042以上)	3,000	2,000	-	-

図10. 各建材の補助単価－断熱材

16

【戸建】

(単位:円)

窓の改修				ガラスの改修	
外窓交換・カバー工法 <sup>*1</sup> (樹脂又はアルミ樹脂複合等)		内窓取付		ガラス交換	
グレード ( )内はUw値	補助単価	グレード ( )内はUw値	補助単価	グレード [ ]内はUg値	補助単価
W1 (1.30以下)	60,000	W5 (2.33以下)	30,000	G1 [1.49以下]	30,000
W2 (1.31～1.60)	55,000				
W3 (1.61～1.90)	50,000				
W4 (1.91～2.33)	40,000				

【集合】

窓の改修				ガラスの改修			
カバー工法 <sup>*1</sup>		内窓取付		カバー工法		ガラス交換	
グレード ( )内はUw値	補助単価	グレード ( )内はUw値	補助単価	グレード [ ]内はUg値	補助単価	グレード [ ]内はUg値	補助単価
W6 (2.33以下)	50,000	W5 (2.33以下)	30,000	G1 [1.49以下]	30,000	G1 [1.49以下]	30,000
				G2 [1.50～2.33]	20,000	G2 [1.50～2.33]	20,000

図11. 各建材の補助単価－窓、ガラス

17



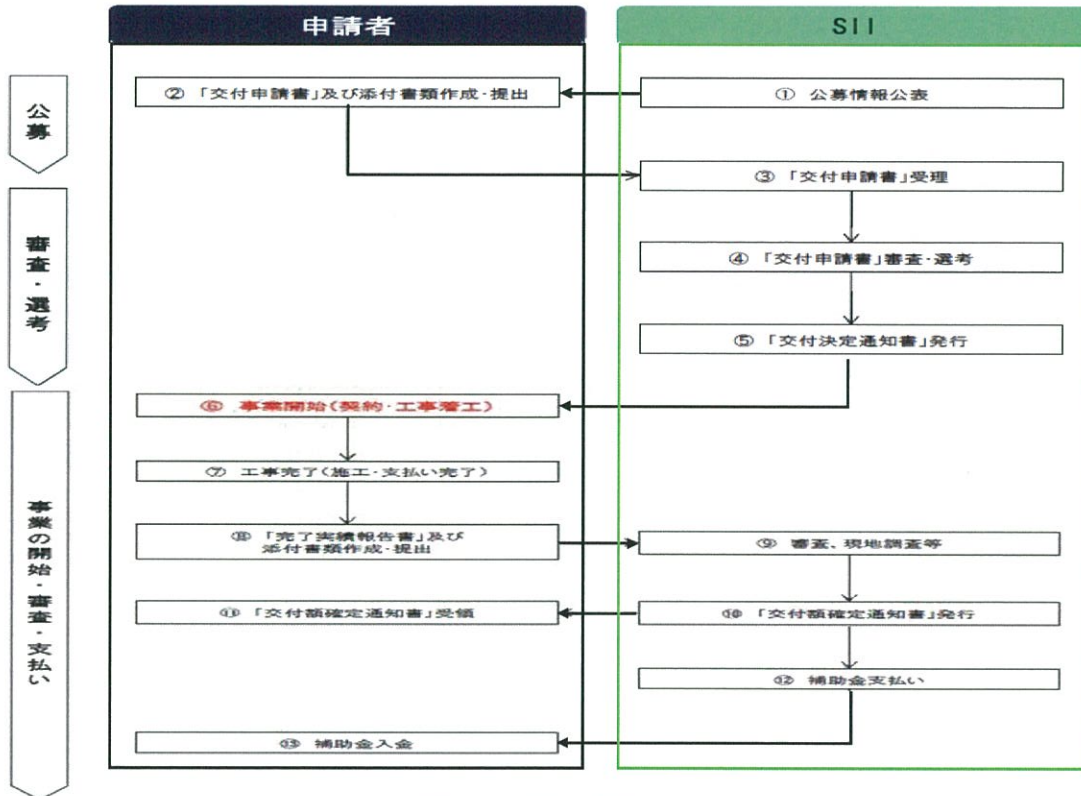


図12. 事業フロー

$$\text{改修率 (％)} = \frac{\text{断熱改修床面積合計}^{\ast} (\text{m}^2)}{\text{延べ床面積} (\text{m}^2)} \times 100$$

※ 断熱改修床面積合計 = 2 で選択した部位全て(天井を除く)を改修する居室等の床面積の合計

### <計算例>

- \* 参考例を基に計算
- \* 計算は全て小数点第3位切捨て

① 住宅の延べ床面積を計算します。  
 ・1階の床面積が78.66㎡  
 ・2階の床面積が64.59㎡の場合  
**延べ床面積 = 143.25㎡**

② 断熱改修床面積を計算します。  
 ・1階の床面積が64.59㎡  
 ・2階の床面積が57.96㎡の場合  
**断熱改修床面積 = 122.55㎡**

③ 改修率を計算します。

$$\text{改修率} = \frac{122.55\text{m}^2}{143.25\text{m}^2} \times 100 = 85.5 (\%) \rightarrow 85 (\%)$$



図13. 改修率の算出事例



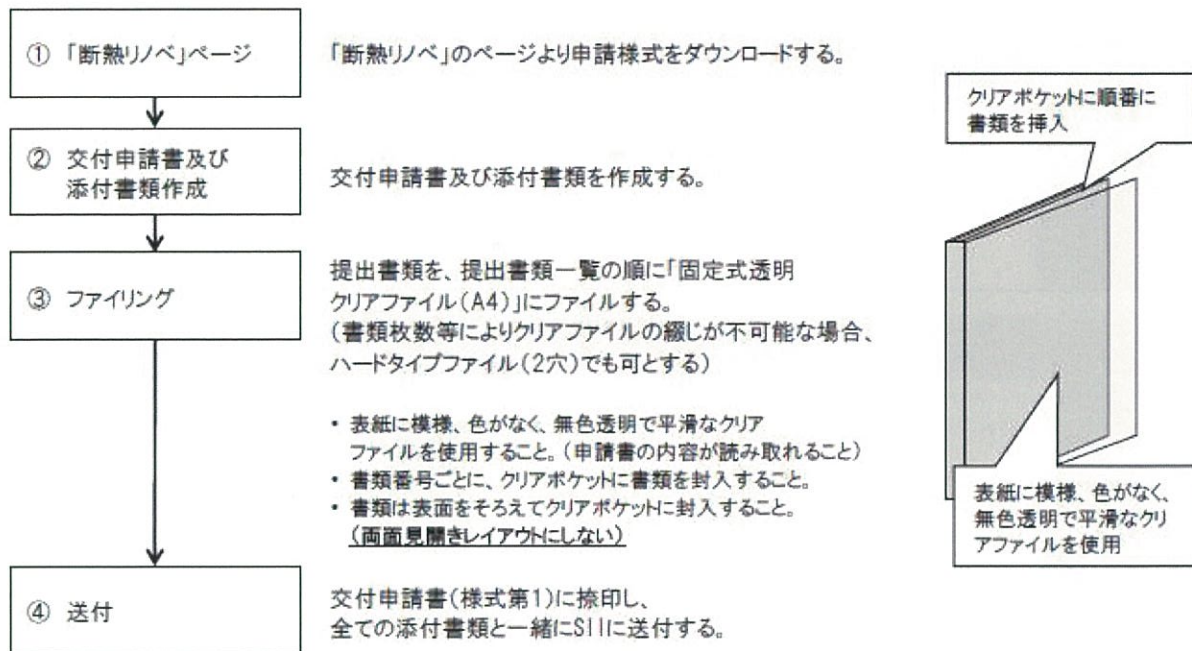


図14. 申請方法

**【提出先】**  
〒104-0061 東京都中央区銀座2-16-7 恒産第3ビル9階  
一般社団法人 環境共創イニシアチブ『断熱リノベ』担当 宛




- 「断熱リノベ申請書在中」と必ず記入のこと。
- SIIから申請者に対して申請書を受け取った旨の連絡はしないので、配送事故に備え配送状況が確認できる「簡易書留」等を使用すること。また、申請書の持ち込みは受け付けないので注意すること。
- 宛先には略称SIIを使用しないこと。
- 申請者がSIIに送付する申請書は「信書」に当たることから、郵便物・信書便物以外の荷物扱いで送付することはできないので注意すること。
- 提出書類は必ずボールペン・万年筆等(黒色インクのもの)で記入すること。  
(消せるボールペン、鉛筆は不可)

**【問合せ先】** ※通話料がかかるので注意すること。  
TEL:03-5565-4860 (平日10時~17時) FAX:03-5565-4861

図15. 提出先





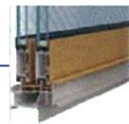
	内窓	ガラス交換
シリーズ	ブラマードU 	Low-E複層ガラス 【アタッチメント付含む】 
対象予定グレード	W5	G1～G2

	窓交換		
シリーズ	APW430 【APW430+含む】 	APW330 【APW330木目仕様含む】 	APW330真空トリプル 【APW330木目仕様含む】 
対象予定グレード	W1～W2	W2～W4	W1～W2

- いずれもSII(環境共創イニシアチブ)に登録された商品であること
- ・ 図はいずれも登録予定の商品(5月10日および31日に正式公表の予定)

図16. YKK APの予定対象商品(1)

	窓交換		
シリーズ	APW330防火窓 	ブラマードⅢ 	APW310 【簡易断熱仕様含む】 
対象予定グレード	W2～W4	W2～W4	W4

	窓交換		
シリーズ	エピソードNEO 	エピソード・ エピソードTypeS 	防火窓G樹脂複合NEO 
対象予定グレード	W4	W4	W4

- いずれもSII(環境共創イニシアチブ)に登録された商品であること
- ・ 図はいずれも登録予定の商品(5月10日および31日に正式公表の予定)

図17. YKK APの予定対象商品(2)